

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 30 日

 上場会社名 **株式会社 JALUX** (ジャルックス)  
 コード番号 2729

 上場取引所 東証一部  
 URL <http://www.jalux.com/>

 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 岡崎 俊城  
 問合せ先責任者 役職名 企画部長 氏名 城島 義之 TEL (03) 5460-7233

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	92,438	12.2	2,138	△3.5	2,359	△0.5	995	△8.7
19 年 3 月期第 3 四半期	82,399	3.6	2,216	△1.5	2,370	△6.7	1,090	△22.0
(参考) 19 年 3 月期	114,133	5.7	3,246	32.8	3,516	9.4	1,579	△6.5

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	78	02	—	—
19 年 3 月期第 3 四半期	85	70	—	—
(参考) 19 年 3 月期	124	01	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	45,680	16,061	33.1	1,183	72
19 年 3 月期第 3 四半期	42,439	14,975	33.2	1,103	31
(参考) 19 年 3 月期	42,345	15,515	34.4	1,142	19

## 2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	—	—
19 年 3 月期第 3 四半期	—	—

## 3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	120,000	5.1	3,500	7.8	3,700	5.2	1,850	17.1	144	98

※ 平成 19 年 5 月 8 日に発表いたしました当初の業績予想と変更はありません。

※ 上記の予想は、作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要素により、これらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。

## 4. その他

①期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

②会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

③最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、7 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

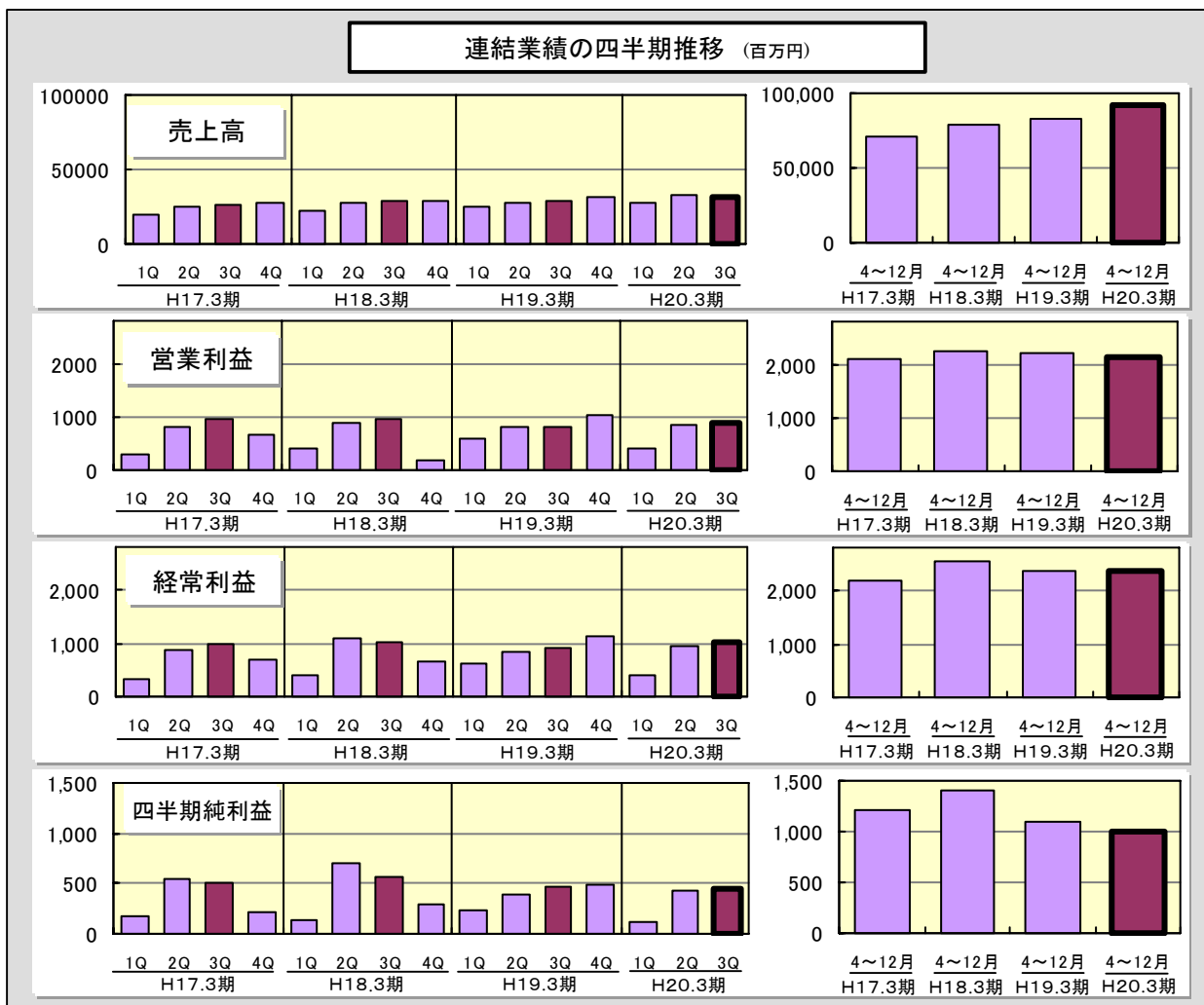
## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年4月1日から同12月31日まで）は、総じて堅調な事業環境のもと、航空関連、生活関連、顧客サービスの各セグメントとも概ね順調に推移いたしました。

航空関連事業は前年並みに止まったものの、生活関連事業では、農水産物の輸入（加工）販売や贈答用食品販売などで順調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業では、空港店舗事業において一部空港の競合激化等により減収となったものの、不動産事業での販売用不動産（土地建物）の販売が業績に大きく寄与した結果、増収となりました。

これらにより、当第3四半期の売上高は92,438百万円と前年同期を上回りましたが、一方で、コンピューター基幹システムの開発・更新に伴う社外役務費や、同システムに係わる減価償却費の発生などによる一般管理費の増加により、営業利益は2,138百万円、これに持分法投資損失等の営業外収支を加減した経常利益は2,359百万円、第3四半期純利益は995百万円となり、結果として当第3四半期累計の連結業績は増収減益となりました。

連結業績 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成19年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	82,399	92,438	112.2	10,039
売上総利益	18,143	18,405	101.4	262
営業利益	2,216	2,138	96.5	△78
経常利益	2,370	2,359	99.5	△10
四半期純利益	1,090	995	91.3	△95



## セグメント別の概況

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。尚、各業績数値は、セグメント間売上高または振替高及び配賦不能営業費用を調整前の金額です。

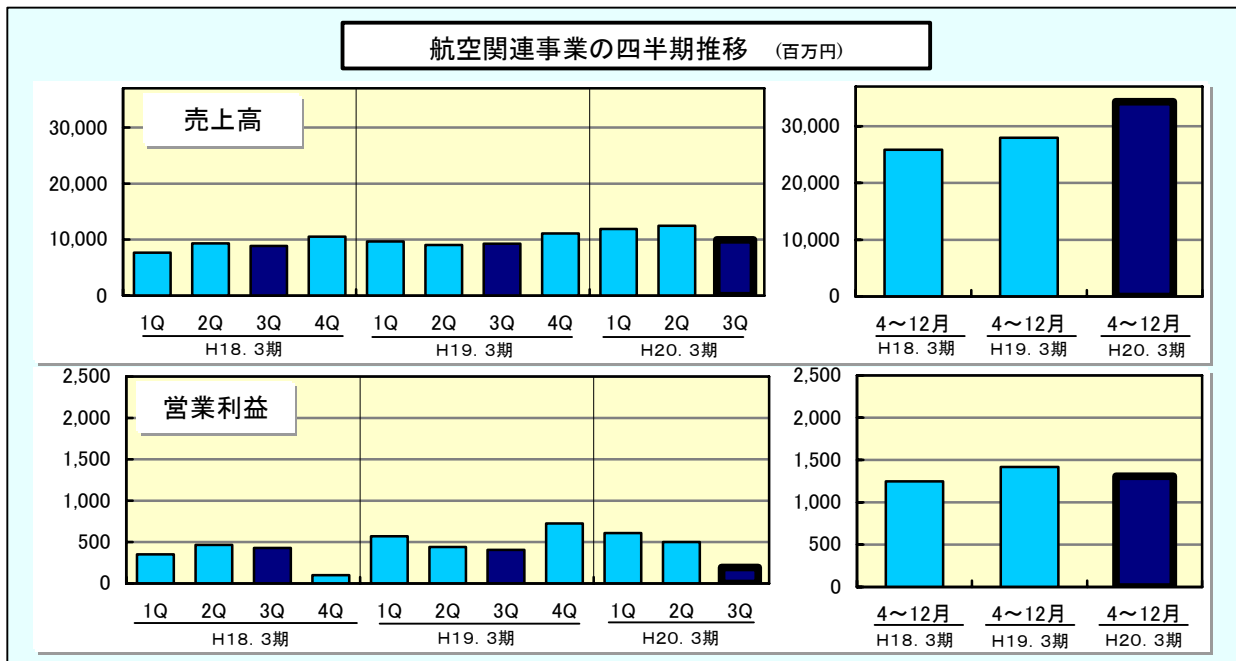
### ① 航空関連事業

航空機・機材関連では、大型貨物機を含む、海外エアライン向け中古航空機の販売などが好調な実績を納めました。一方で、中間期において一時停滞が見られた航空機部品の販売は、下期以降、取扱量の回復基調が見られたものの、収益においては前年同期を下回りました。

航空客室関連では、国内免税店向け免税商品の卸販売等は順調に推移いたしました。航空客室用品および制服、クリーニング等の調達事業（業務受託）においては減益となりました。

これらの結果、売上高 34,310 百万円、営業利益 1,307 百万円と、前年同期に対して、増収減益となりました。

航空関連事業 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成19年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	27,982	34,310	122.6	6,327
営業利益	1,419	1,307	92.1	△111



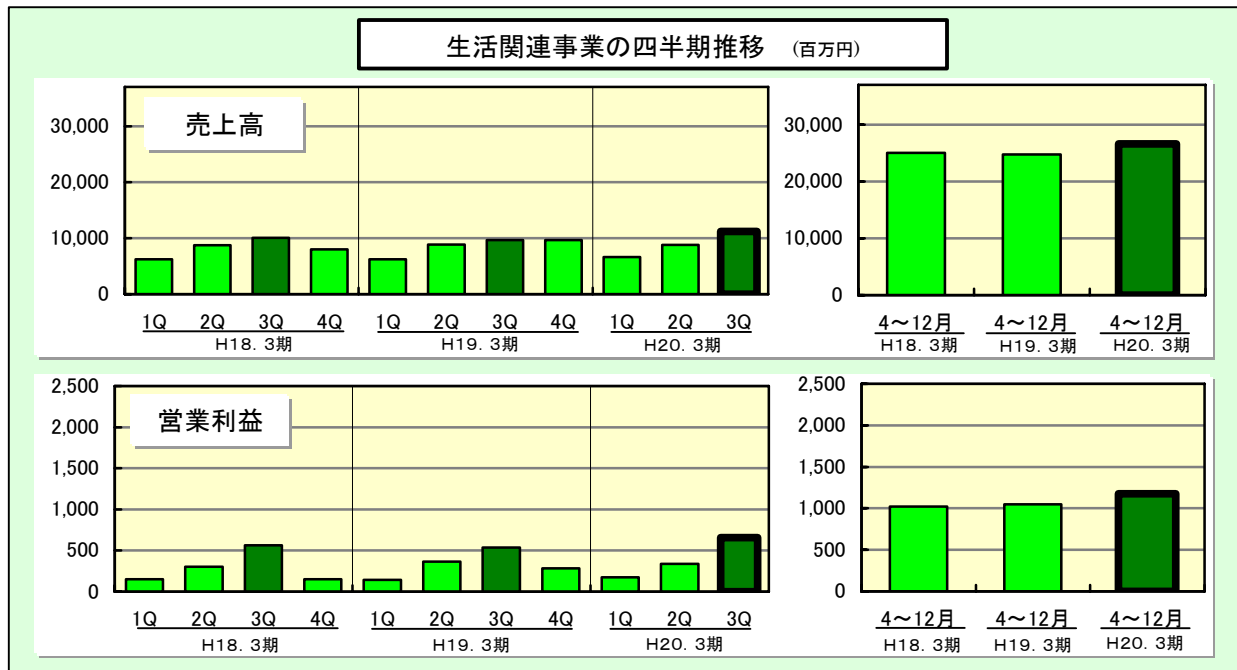
### ② 生活関連事業

フーズ・ビバレッジ関連では、輸入青果物（生鮮果実、冷凍加工野菜等）の販売でパプリカ、マンゴーなど、また輸入冷凍水産物では、ベトナム等で加工を施した付加価値の高い商品の取り扱いなどが順調に推移し、前期に引き続き順調な実績をおさめました。贈答用食品では、百貨店向け「選べるギフト」の販路拡大とともに、受注センターの業務効率化をはかりました。その他、輸入ワインの卸販売などでも順調な実績をおさめました。また、加工食品においても、オリジナル商品の「JAL セレクション デスカイシリーズ」において、平成19年11月に「カレーうどんですかい」を新発売するなど、増収に貢献いたしました。

通信販売関連では、カタログ通販において、航空機内カタログ「JAL SHOP」で受注減が見られましたが、一方で、インターネット通販の「JAL ショッピング」が増収となり、概ね前期水準並みに推移いたしました。

これらの結果、売上高 26,595 百万円、営業利益 1,175 百万円と、いずれも前年同期を上回り、増収増益となりました。

生活関連事業 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成19年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	24,741	26,595	107.5	1,853
営業利益	1,047	1,175	112.2	128



### ③ 顧客サービス事業

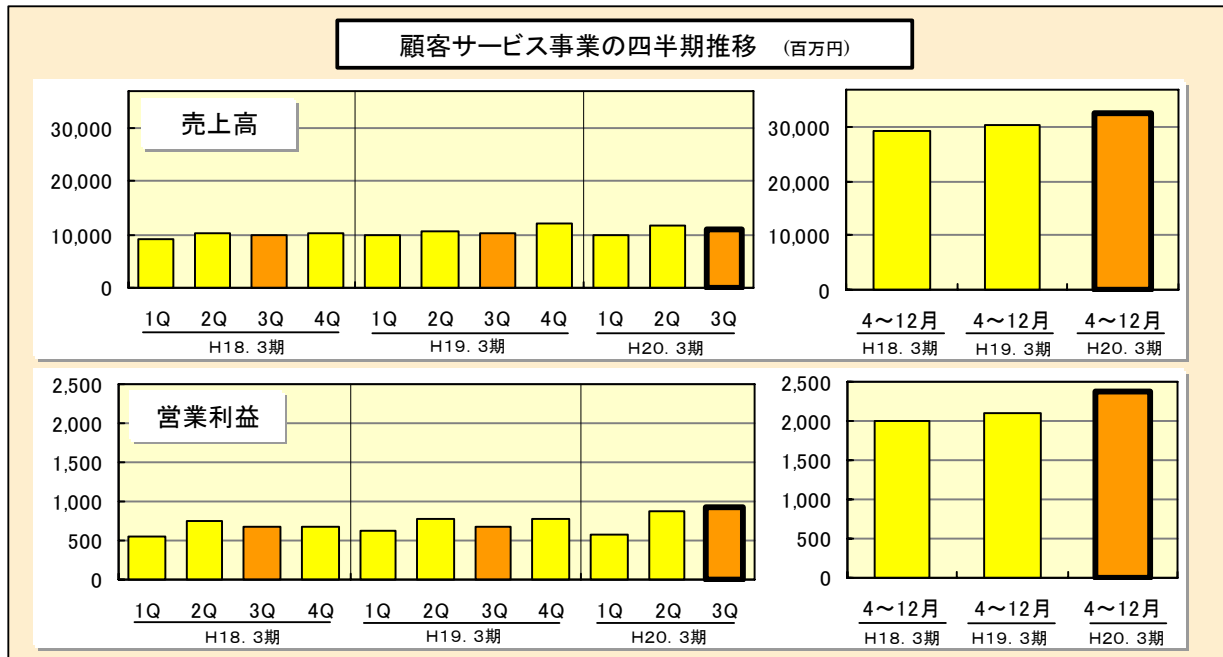
店舗関連では、国内空港店舗「BLUE SKY」において、平成19年4月の成田空港ターミナルに空港直営の「ナリタ5番街」がオープン(第2ターミナル内競合店の増加)したことや、その他、福岡空港ターミナルビルの改装工事等の影響もあって、減収減益となりました。また、成田空港免税店「JAL-DFS\*」においても、同じく「ナリタ5番街」オープンの影響等で前年同期を下回りました。

一方、ライフデザイン関連では、不動産事業において、販売用不動産(土地建物)の販売が大きく収益に貢献するとともに、企業向け社宅寮のサブリース、旧社宅寮物件の再販等も順調に推移いたしました。また不動産の施設管理事業でも、新たな取引先獲得に努めて堅調な実績をおさめました。

これらの結果、売上高 32,569 百万円、営業利益 2,377 百万円と、いずれも前年同期を上回り、増収増益となりました。

\*連結子会社 ㈱JAL-DFS が運営

顧客サービス事業 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成19年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	30,624	32,569	106.4	1,944
営業利益	2,091	2,377	113.7	286



## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末 (平成 19 年 12 月 31 日) の総資産は、前連結会計年度末に比べ 3,334 百万円増加し、45,680 百万円 (前期末比 107.9%) になりました。これは年末商戦に伴う営業債権の増加や、季節的要因によるたな卸資産の増加によるものです。また、それらに伴い、仕入れ債務や借入金も増加致しました。この結果、自己資本比率は 33.1% となり、前連結会計年度末と比べ 1.3 ポイント低下しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期までの連結業績は増収減益となり、通期連結業績予想に占める進捗率としては、やや軟調に推移しております。

第 4 四半期においては、なお一層、全社的に事業品質の向上を通じた市場競争力を高めてまいります。特に以下の施策等を重点的に講じてまいります。

航空関連事業においては、海外エアライン向けの中古航空機販売における収益力の更なる向上や、航空機部品の保管供給ビジネスの拡充、グループのノウハウを有効に活用した国内外エアライン向け機械・資材類の販売などにより、基盤の拡大をはかってまいります。

生活関連事業においては、特に通信販売において、新システム稼働に伴うマーケティング力 (商品・顧客分析、カタログ配付精度、顧客サービス) の向上と、効率化 (業務オンライン化、データコスト低減等) の実現などにより増益をはかってまいります。

顧客サービス事業においては、空港店舗「BLUE SKY」事業において、平成 19 年 12 月に成田空港で大型店舗を出店するなど、新規出店による「増収策」と、運営形態見直し等を含む既存店舗の「活性化・運営効率化」の両面から、店舗付加価値と収益性の向上につとめてまいります。また、オリジナルの「空弁 (そらべん)」や「空スイーツ」の開発やプロモーションを強化し、商品の差別化、集客力の向上をはかってまいります。

以上の施策等により、通期は期初予想どおりの業績を見込んでおり、現時点において、平成 19 年 5 月 8 日発表の平成 20 年 3 月期連結及び個別業績予想 (通期) の修正はございません。

連結業績 (金額単位:百万円)	前期実績 (平成 19 年 3 月期)	当期予想 (平成 20 年 3 月期)	前期比(%)	前期差
売上高	114,133	120,000	105.1	5,866
営業利益	3,246	3,500	107.8	253
経常利益	3,516	3,700	105.2	183
当期純利益	1,579	1,850	117.1	270

#### 4. その他

- ① 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- ② 会計処理の方法における簡便な方法の採用

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率を用いて計算しています。

- ③ 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(たな卸資産の評価方法)

当社のたな卸資産の評価基準及び評価方法については、従来、主として先入先出法による原価法によってきましたが、当期から移動平均法による原価法に変更しています。この変更は、当期より新基幹システムが稼動したことを機に、業務効率の向上を図るとともに価格変動を平均化し期間損益をより適正に表示することを目的としています。また、個々の取引毎に損益計算を行うことが合理的な商品については、従来通り個別法を採用しております。尚、この変更の当四半期業績に与える影響額は軽微です。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期末 (平成19年12月31日)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		対前期末比	前第3四半期末 (平成18年12月31日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	6,110,327		5,688,228			5,209,694
受取手形及び売掛金	15,026,205		13,468,655			13,141,811
たな卸資産	7,609,144		6,117,340			6,714,872
その他	4,104,138		4,313,809			4,716,748
貸倒引当金	△26,186		△29,364			△46,808
流動資産合計	32,823,629	71.9	29,558,670	69.8	3,264,959	29,736,318
固定資産						
有形固定資産	4,899,644	10.7	5,210,276	12.3		5,147,632
無形固定資産	1,898,710	4.1	1,861,775	4.4		1,779,949
投資その他の資産						
投資有価証券	2,708,155		2,794,350			2,677,509
長期貸付金	488,777		530,925			572,934
長期差入保証金	1,976,427		1,860,995			1,890,877
その他	987,126		640,329			741,010
貸倒引当金	△102,420		△111,385			△106,336
投資その他の資産合計	6,058,066	13.3	5,715,214	13.5		5,775,995
固定資産合計	12,856,421	28.1	12,787,266	30.2	69,155	12,703,577
資産合計	45,680,051	100.0	42,345,936	100.0	3,334,114	42,439,895
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	15,643,510		13,561,543			13,930,513
短期借入金	6,667,103		3,826,728			4,435,825
未払費用	2,331,723		2,407,705			2,057,609
その他	1,898,957		3,241,847			3,225,401
流動負債合計	26,541,294	58.1	23,037,825	54.4	3,503,468	23,649,348
固定負債						
長期借入金	2,285,730		2,963,320			3,000,989
退職給付引当金	32,352		112,767			150,013
その他	759,377		716,445			664,069
固定負債合計	3,077,460	6.7	3,792,533	9.0	△715,073	3,815,072
負債合計	29,618,755	64.8	26,830,359	63.4	2,788,395	27,464,421
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	2,558,550	5.6	2,558,550	6.0	—	2,558,550
資本剰余金	711,499	1.6	711,421	1.7	78	711,421
利益剰余金	11,902,149	26.0	11,289,771	26.7	612,377	10,800,882
自己株式	△9,860	△0.0	△9,677	△0.0	△182	△9,447
株主資本合計	15,162,339	33.2	14,550,065	34.4	612,273	14,061,406
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	1,417	0.0	13,707	0.0	△12,289	8,470
繰延ヘッジ損益	△11,533	△0.0	4,068	0.0	△15,601	16,302
為替換算調整勘定	△47,397	△0.1	7,144	0.0	△54,541	△7,259
評価・換算差額等合計	△57,512	△0.1	24,920	0.0	△82,433	17,513
少数株主持分	956,469	2.1	940,591	2.2	15,878	896,553
純資産合計	16,061,296	35.2	15,515,577	36.6	545,718	14,975,474
負債純資産合計	45,680,051	100.0	42,345,936	100.0	3,334,114	42,439,895



## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		対前年同期比	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
売上高	92,438,699	100.0	82,399,684	100.0	10,039,015	114,133,497
売上原価	74,033,318	80.1	64,256,649	78.0	9,776,668	89,602,555
売上総利益	18,405,380	19.9	18,143,034	22.0	262,346	24,530,941
販売費及び一般管理費						
給料及び手当	6,057,447		6,039,756			8,067,072
退職給付費用	191,531		156,199			214,532
賃借料	3,594,127		3,581,415			4,784,117
減価償却費	523,744		293,180			396,602
役員退職慰労引当金繰入額	50,850		43,092			58,223
その他	5,849,189		5,812,660			7,764,235
販売費及び一般管理費合計	16,266,890	17.6	15,926,303	19.3	340,586	21,284,783
営業利益	2,138,490	2.3	2,216,730	2.7	△78,240	3,246,158
営業外収益						
受取配当金	15,431		18,547			40,982
持分法による投資利益	-		71,803			162,429
為替差益	213,684		39,049			6,846
その他	143,289		137,886			251,352
営業外収益合計	372,405	0.4	267,286	0.3	105,119	461,611
営業外費用						
支払利息	96,041		89,206			132,492
持分法による投資損失	36,958		-			-
その他	18,218		24,200			58,835
営業外費用合計	151,219	0.1	113,406	0.1	37,812	191,328
経常利益	2,359,676	2.6	2,370,610	2.9	△10,933	3,516,441
特別利益	40,022	0.0	30,682	0.0	9,340	28,483
特別損失	205,917	0.2	67,317	0.1	138,599	378,697
税金等調整前第3四半期 (当期) 純利益	2,193,782	2.4	2,333,975	2.8	△140,193	3,166,227
税金費用	1,061,787	1.2	1,103,748	1.3	△41,960	1,402,979
少数株主利益	136,476	0.1	139,288	0.2	△2,811	183,420
第3四半期(当期) 純利益	995,517	1.1	1,090,938	1.3	△95,421	1,579,827

## (3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	2,558,550	711,363	9,992,376	△9,284	13,253,004	22,663	-	△51,101	△28,437	881,358	14,105,924
当四半期変動額											
剰余金の配当			△306,515		△306,515						△306,515
四半期純利益			1,090,938		1,090,938						1,090,938
自己株式の取得				△221	△221						△221
自己株式の処分		58		51	109						109
持分法適用関連会 社の増加			24,082		24,082						24,082
持分変動による自 己株式の減少				8	8						8
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)						△14,193	16,302	43,842	45,951	15,195	61,147
当四半期変動額 合計	-	58	808,506	△162	808,401	△14,193	16,302	43,842	45,951	15,195	869,549
当期末残高	2,558,550	711,421	10,800,882	△9,447	14,061,406	8,470	16,302	△7,259	17,513	896,553	14,975,474

当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	2,558,550	711,421	11,289,771	△9,677	14,550,065	13,707	4,068	7,144	24,920	940,591	15,515,577
当四半期変動額											
剰余金の配当			△383,139		△383,139						△383,139
四半期純利益			995,517		995,517						995,517
自己株式の取得				△264	△264						△264
自己株式の処分		78		82	160						160
株主資本以外の項目 の当四半期変動額 (純額)						△12,289	△15,601	△54,541	△82,433	15,878	△66,554
当四半期変動額 合計	-	78	612,377	△182	612,273	△12,289	△15,601	△54,541	△82,433	15,878	545,718
当四半期末残高	2,558,550	711,499	11,902,149	△9,860	15,162,339	1,417	△11,533	△47,397	△57,512	956,469	16,061,296

## 6. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	27,123,939	24,651,062	30,624,682	82,399,684	—	82,399,684
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	858,710	90,908	—	949,618	(949,618)	—
計	27,982,649	24,741,971	30,624,682	83,349,303	(949,618)	82,399,684
営業費用	26,563,610	23,694,954	28,533,645	78,792,211	1,390,742	80,182,953
営業利益	1,419,038	1,047,016	2,091,036	4,557,092	(2,340,361)	2,216,730

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

(1) 航空関連事業 ……航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品 【業務受託、卸販売等】

(2) 生活関連事業 ……雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒印刷メディア 【カタログ・WEB通販、卸販売等】

(3) 顧客サービス事業…ライフデザイン (保険・FP、不動産等) 空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第3四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は2,338,304千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	33,358,790	26,512,095	32,567,813	92,438,699	—	92,438,699
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	951,555	83,124	1,552	1,036,232	(1,036,232)	—
計	34,310,346	26,595,219	32,569,366	93,474,932	(1,036,232)	92,438,699
営業費用	33,003,184	25,420,183	30,191,501	88,614,869	1,685,339	90,300,209
営業利益	1,307,161	1,175,036	2,377,864	4,860,062	(2,721,572)	2,138,490

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

(1) 航空関連事業 ……航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品 【業務受託、卸販売等】

(2) 生活関連事業 ……雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒、印刷メディア【カタログ・WEB通販、卸販売等】

(3) 顧客サービス事業…ライフデザイン (保険・FP、不動産等) 空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第3四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は2,719,427千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。